

生活単元学習指導案（略案）

平成26年11月14日 金曜日 2校時
 中学部3年 男子4人 女子2人 計6人
 場所 中学部3年教室
 指導者 ○○○○(CT) ○○○○(ST)

1 単元 「作って食べよう～おかしパーティーをしよう～」

2 本時の実際（12/23）

(1) 全体目標

手順表の作り方カード等を手掛かりに、分かりやすいお菓子作りの手順表を作ることができる。

(2) 評価規準

育てたい力	評価規準	観点
自分づくり	① 作って食べる楽しさや喜びを感じている。 ② 季節感を味わっている。	【関心・意欲・態度】
関係づくり	③ 自分の意見を伝えたり、友達の意見を受け入れたりしながら活動に取り組んでいる。 ④ 道具の扱い方を知ったり、材料の分量を量ったりしながら調理に取り組んでいる。	【思考・判断・表現】 【知識・理解】 【技能】

(3) 個人目標

生徒	個人目標
S. M (3年, 男)	手順表の作り方カードや見本を見ることで活動に見通しをもち、友達の言葉掛けを手掛かりに、お菓子作りの手順表を作ることができる。
H. K (3年, 男)	活動進行表を基に役割分担を話し合ったり、友達に手順表の作り方を教えたりしながら、お菓子作りの手順表を作ることができる。
F. S (3年, 男)	手順表の見本や友達の言葉掛けや様子を手掛かりに、お菓子作りの手順表を作ることができる。
M. N (3年, 男)	手順表の作り方カードを手掛かりに、友達と道具のやりとりをしたり、友達に作り方を教えたりしながら、お菓子作りの手順表を作ることができる。
I. N (3年, 女)	手順表の作り方カードや活動進行表を手掛かりに、友達の意見を受け入れながらお菓子作りの手順表を作ることができる。
N. S (3年, 女)	手順表の作り方カードを手掛かりにすることで、友達と道具のやりとりをしながらお菓子作りの手順表を自分で作ることができる。

(4) 指導及び支援に当たって

学習活動の概要と授業環境の工夫

生徒たちはこれまで、自分たちでお菓子のメニューを決めたり、お菓子作りの材料や作り方を調べて、買物や調理を行ったりしてきた。お菓子のメニューを決める際には、季節を感じるように「秋」の食材を入れることを教師が提案し、生徒たちの意見でサツマイモを使ったお菓子の一つ入れることにした【自分づくり】。お菓子作りの材料や作り方を調べる際には、インターネットや本を利用して調べることができるようになってきた。また、調理の際には、必要な道具や材料を準備して、お菓子作りに取り組むことができるようになってきている【関係づくり】。しかし、活動全体を通して意欲的に取り組むものの、道具や材料の準備、材料の分量を量る際に教師を頼ったり、周りの状況を見ずに自分だけで活動を進めたりする姿が見られた。

そこで、本時では、できるだけ自分たちで調理に取り組むことができるように手順表を作成する。手順表の作成に当たっては、友達と協力して手順表を作ることができるように、グループで活動する場を設定する【関係づくり】。

教材・教具とのかかわりについて

手順表を作る際にどんなことに気を付ければよいのかを、二つの手順表の例を示し、見比べることでポイントに気付いて発表したり、確認したりすることができるようにする。また、手順表の作り方をカードで示すことで、生徒自身又は、生徒同士で活動を進めることができるようにする。S. M, F. Sについては、手順表の見本を示すことで、見通しをもって活動に取り組むことができるようにする。手順表を書く画用紙にはあらかじめ、写真を貼る場所や文字を書く場所を決めて線を引いておく。

人（友達や教師）とのかかわりについて

グループでの活動では、リーダーを決めて、リーダーを中心に役割分担をしたり、活動を進めたりすることができるようにする。教師は、生徒同士で活動が進めることができるように、必要に応じて言葉掛けを行う。

自分とのかかわりについて

手順表を作る際の道具のやりとり等を通して自分の意見を伝えたり、友達の意見を受け入れたりとしながら活動を進めることができるようにする。完成した手順表を掲示することで活動を振り返り、自分や友達が頑張ったことを発表することができるようにする。

(5) 実際

過程	主な学習活動	指導及び支援上の留意点	資料・準備
導入 (5分)	1 始めの挨拶をする。 2 本時の学習を話し合う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;">おかし作りの手順表を作ろう。</div> 〈予想される反応〉 <ul style="list-style-type: none"> ・ 前回よりももっとおいしく作るため。 ・ 自分たちで作るため。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日直の号令に注意を向けられるように言葉掛けをしたり、教師も一緒にサインをしたりして、学習の始まりを意識することができるようにする。 ・ 学習計画表を掲示することで、生徒が自分で気付いたり、考えたりすることができるようにする。 ・ 前時の学習を振り返り、なぜ手順表を作るのかを考えることができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習計画表 ・ めあてカード
展開 (40分)	3 分かりやすい手順表を作るにはどうすればよいかを考え、手順表を作るポイントを確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 言葉は短く、簡単にまとめる。 ・ 文字を大きくする。 ・ 大切なところは、色を変えて書く。 ・ 写真を貼る。 </div> 4 手順表の作り方を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;"> <ol style="list-style-type: none"> ① 材料、分量を書く。 ② 左上に工程の番号を書く。 ③ 写真を貼る。 ④ 工程を書く(下書き)。 ⑤ ペンでなぞる(材料は赤、使う道具は青で書く)。 </div> 5 グループに分かれて、手順表を作る。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 二つのグループに分かれる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;">グループ①(CT) F. S, I. N, N. S</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;">グループ②(ST) S. M, H. K, M. N</div> <ol style="list-style-type: none"> (1) 作り方の資料を基に、手順表に書く内容を決める。 (2) 文字を書く、なぞる、写真を貼るなどの役割分担をする。 (3) 画用紙に必要なことをまとめながら、手順表を作る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 二種類の手順表を提示し、どちらの手順表が分かりやすいかを考えることができるようにする。 ・ STは、「文字の大きさはどうですか？」等、具体的に言葉掛けをすることで、生徒自身が二つの手順表の違いに気付くことができるようにする。 ・ ホワイトボードに手順表の作り方を提示することで、生徒が自分たちで活動を進めることができるようにする。 ・ 前回の調理時の写真を用いることで、自分たちで作るという意欲を高める。 ・ グループごとにリーダーを決めることで、生徒たちで役割分担をしたり、活動をしたりすることができるようにする。 ・ 活動進行表を用いることで、リーダーを中心に活動を進めることができるようにする。 ・ 手順表作成の場面では、CTはF. S, I. N, N. Sを、STはS. M, H. K, M. Nを中心に指導に当たる。 ・ 手順表の見本を示すことで、S. MとF. Sが見通しをもって活動することができるようにする。 ・ N. Sについては、「教えてあげてください。」「大丈夫です。」などの言葉掛けを行うことで、自信をもって友達にかかわることができるようにする。 ・ 画用紙にはあらかじめ文字を書く場所や写真を貼る場所を決め、線を引いておく。 ・ 活動の際に、友達同士で道具の貸し借りを依頼したり、分からないことは教え合ったりすることができるように言葉掛けをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 手順表の例 ・ 手順表を作るときのポイント表 ・ 手順表の作り方カード ・ ホワイトボード ・ 活動進行表 ・ お菓子の作り方の資料 ・ 手順表の見本 ・ 写真 ・ 画用紙 ・ 色ペン ・ のり ・ 両面テープ ・ 支援台(2)
終末 (5分)	6 本時の学習を振り返り、次時の学習内容を確認する。 7 終わりの挨拶をする。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教師が生徒の頑張った点を紹介したり、生徒自身が発表したりすることで、生徒の頑張りを称賛し、次時への学習への意欲を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習計画表

(6) 評価

手順表の作り方カード等を手掛かりに、分かりやすいお菓子作りの手順表を作ることができたか。